



APIC-EM コントローラによる QoS の設定

- [APIC-EM コントローラの概要 \(1 ページ\)](#)
- [APIC-EM コントローラ前提条件 \(2 ページ\)](#)
- [APIC-EM コントローラの設定タスク フロー \(2 ページ\)](#)

APIC-EM コントローラの概要

APIC-EM は、ネットワークトラフィックを集中管理するためのシステムを提供しているため、ネットワークの輻輳がある場合でも、常に通信を維持できるようになっています。Cisco Unified Communications Manager を設定して、APIC-EM コントローラを使用し SIP メディアフローを管理するように設定すると、次のような利点がもたらされます。

- QoS 管理を一元化し、エンドポイントによる DSCP 値の割り当てが不要になります。
- メディア フローごとに異なる QoS 処理を適用できます。たとえば、ネットワーク帯域幅が少ない場合でも、基本的な音声通信が常に維持されるように、オーディオの優先順位を付けることができます。
- SIP プロファイルの外部 QoS 設定では、APIC-EM を使用するようにユーザを設定できます。たとえば、Cisco Jabber ユーザは APIC-EM を使用してメディアフローを管理し、一方で Cisco Unified IP Phone ユーザは Cisco Unified Communications Manager の DSCP の設定を使用できます。

SIP メディアフロー管理

APIC-EM を使用する SIP コールの場合、Cisco Unified Communications Manager はコールの始めに APIC-EM コントローラにポリシー要求を送信して、メディアフローの APIC-EM がセットアップ中であることを通知します。ポリシー要求には、発信元および宛先のデバイスの IP アドレスやポート、フローのメディアタイプ、およびプロトコルを含む、コールに関する情報が含まれています。

APIC-EM は、関連付けられているメディアフローの DSCP 値のコールフローの先頭にスイッチを通知します。スイッチは、これらの DSCP 値を個々のメディアパケットに挿入し、エンドポイントが挿入する値を上書きします。コールフロー内のゲートウェイに輻輳が発生すると、ゲートウェイは、最初により高い DSCP 値を持つパケットを送信します。これにより、優先順

位の高いオーディオおよびビデオストリームが、電子メール、印刷ジョブ、ソフトウェアダウンロードなどの優先順位の低いネットワークトラフィックによってブロックされることがなくなります。通話が終了すると、Cisco Unified Communications Manager が APIC-EM に通知し、APIC-EM は、そのフローを削除するようスイッチに通知します。

外部 QoS サポート

Cisco Unified Communications Manager が APIC-EM を使用してメディアフローを管理するには、外部 QoS パラメータを両方のシステムレベルでは、クラスタ全体のサービスパラメータを介して、さらにデバイスレベルでは、SIP プロファイルを介して有効にする必要があります。

APIC-EM コントローラ前提条件

APIC-EM を使用する前に、次の手順を実行する必要があります。

- Cisco Unified Communications Manager で、さまざまな SIP メディアフローの DSCP 優先順位を設定します。詳細については、「[DSCP 設定の設定タスクフロー](#)」を参照してください。
- ネットワーク内で APIC EM コントローラハードウェアを設定します。詳細については、APIC-EM コントローラ付属のハードウェア ドキュメンテーションを参照してください。

APIC-EM コントローラの設定タスクフロー

これらのタスクを Cisco Unified Communications Manager で完了すると、APIC EM コントローラが SIP メディアフローを管理できるようになります。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	APIC-EM コントローラの設定 (3 ページ)	APIC-EM コントローラに Unified CM を設定します。
ステップ 2	APIC-EM コントローラ証明書のアップロード (4 ページ)	APIC EM 証明書を Cisco Unified OS 管理者にアップロードします。
ステップ 3	APIC-EM コントローラへの HTTPS 接続の設定 (4 ページ)	APIC-EM サービスをポイントする HTTP プロファイルを設定します。
ステップ 4	システムの外部 QoS サービスを有効にする (5 ページ)	外部 QoS Enable サービスパラメータを有効にすると、APIC を使用してメディアフローを管理するようにシステムが設定されます。SIP メディアフロー管理の APIC-EM を使用するには、デバイスの

	コマンドまたはアクション	目的
		サービスパラメータを有効にする必要があります。 (注) SIP メディアフロー管理の APIC EM を使用するデバイスに対しては、SIP プロファイル内の外部 QoS も有効にする必要があります。
ステップ 5	SIP プロファイルレベルの外部 QoS サービスの設定 (5 ページ)	SIP プロファイル内の外部 QoS を有効にします。この SIP プロファイルを使用するすべてのデバイスは、APIC-EM を使用して SIP メディアフローを管理することができます [SIP プロファイル] の設定を使用して、APIC-EM でメディアフローを管理するデバイスとデバイスタイプを設定することができます。
ステップ 6	電話機への SIP プロファイルの割り当て (6 ページ)	外部の QoS 対応 SIP プロファイルを電話機に関連付けます。

APIC-EM コントローラの設定

ユーザとして Cisco Unified Communications Manager を追加するには、APIC-EM コントローラで次の手順を使用します。APIC-EM のロールベースアクセスコントロール機能により、Cisco Unified Communications Manager で APIC-EM リソースの利用が可能になります。

手順

- ステップ 1 APIC-EM コントローラで、[設定 (Settings)] > [内部ユーザ (Internal Users)] を選択します。
- ステップ 2 **ROLE_POLICY_ADMIN** ロールを指定して新しいユーザを作成します。Cisco Unified Communications Manager の [HTTP プロファイル (HTTP Profile)] ウィンドウで同一のクレデンシャルを入力する必要があるため、入力するユーザ名とパスワードを記録しておきます。
- ステップ 3 [ディスカバリ (Discovery)] タブに移動し、CDP による検出、または使用可能なデバイスの IP アドレスの範囲を追加します。
- ステップ 4 [デバイスインベントリ (Device Inventory)] タブを選択し、到達可能なデバイスを選択します。
- ステップ 5 [ポリシータグの設定 (Set Policy Tag)] をクリックします。
- ステップ 6 ポリシー タグを作成し、そのタグをデバイスに設定します。

ステップ7 [EasyQoS] タブで、作成したポリシーを選択し、[DynamicQoS] を有効にします。

APIC-EM コントローラ証明書のアップロード

この手順を使用して、APIC-EM コントローラ証明書を Cisco Unified Communications Manager にアップロードします。

手順

- ステップ1 Cisco Unified OS の管理から、[セキュリティ (Security)] > [証明書の管理 (Certificate Management)] を選択します。
 - ステップ2 [証明書/証明書チェーンのアップロード (Upload Certificate/Certificate chain)] をクリックします。
[証明書/証明書チェーンのアップロード] ポップアップウィンドウが表示されます。
 - ステップ3 [証明書目的 (Certificate Purpose)] ドロップダウンリストで、[CallManager-trust] を選択します。
 - ステップ4 証明書の説明を [説明 (Description)] に入力します。
 - ステップ5 [参照 (Browse)] をクリックして、該当する証明書を選択します。
 - ステップ6 [アップロード (Upload)] をクリックします。
-

APIC-EM コントローラへの HTTPS 接続の設定

Cisco Unified Communications Manager を APIC-EM コントローラに接続するように HTTP プロファイルを設定するには、次の手順を使用します。この接続では、Cisco Unified Communications Manager は HTTP ユーザとして機能し、APIC-EM は HTTP サーバとして機能します。

手順

- ステップ1 Cisco Unified CM Administration から、[コールルーティング (Call Routing)] > [HTTP プロファイル (HTTP Profile)] を選択します。
- ステップ2 [名前 (Name)] にサービスの名前を入力します。
- ステップ3 この HTTP 接続の [ユーザ名 (User Name)] と [パスワード (Password)] を入力します。ユーザ名を Cisco Unified Communications Manager で設定済みのエンドユーザとする必要はありませんが、ユーザ名とパスワードは、APIC-EM コントローラに設定された値に一致する必要があります。
- ステップ4 [Web サービスのルート URI (Web Service Root URI)] テキストボックスで、APIC-EM サービスの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。

ステップ5 [HTTPプロファイル (HTTPProfile)] ウィンドウで、残りのフィールドを設定します。フィールドとそのオプションに関するヘルプは、オンラインヘルプを参照してください。

ステップ6 [保存 (Save)] をクリックします。

システムの外部 QoS サービスを有効にする

システムの外部 QoS サービスを有効にする

QoS の管理に外部サービスを使用するように Cisco Unified Communications Manager を設定するには、次の手順を使用します。QoS に APIC-EM コントローラを使用するには、このサービスパラメータを有効にする必要があります。

手順

ステップ1 Cisco Unified CM Administration から、[システム (System)] > [サービスパラメータ (Service Parameters)] を選択します。

ステップ2 [サーバ (Server)] ドロップダウンリストからパブリッシャ ノードを選択します。

ステップ3 [サービス (Service)] ドロップダウンリストから、[Cisco CallManager] を選択します。

ステップ4 [外部 QoS 機能を有効にする (External QoS Enabled)] サービスパラメータの値を [True] に設定します。

ステップ5 [保存 (Save)] をクリックします。

(注) APIC-EM を使用してデバイスのコールフローを管理するには、デバイスの SIP プロファイル内の外部 QoS を有効にする必要があります。

SIP プロファイル レベルの外部 QoS サービスの設定

クラスタ全体のサービスパラメータである [外部QoS有効 (External QoS Enabled)] を有効にした場合、次の手順を使用して、この SIP プロファイルを使用する SIP デバイスの外部 QoS を有効にします。



(注) 外部 QoS は、APIC-EM を使用して QoS を管理するためにシステム レベルと SIP プロファイルの両方で有効にする必要があります。

 手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM Administration で、[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [SIP プロファイル (SIP Profile)] を選択します。
- ステップ 2** 次のいずれかを実行します。
- 既存の SIP プロファイルを選択するには、[検索 (Find)] をクリックします。
 - 新しい SIP プロファイルを作成するには、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3** [外部QoSの有効化 (Enable External QoS)] チェックボックスをオンにします。この SIP プロファイルを使用して APIC-EM コントローラで QoS を管理する電話の場合、このチェックボックスをオンにする必要があります。
- ステップ 4** [SIPプロファイルの設定 (SIP Profile Configuration)] ウィンドウで、残りのフィールドを入力します。フィールドとその設定の詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
-

電話機への SIP プロファイルの割り当て

作成した外部QoS対応 SIP プロファイルを電話機に割り当てるには、次の手順を使用します。



- ヒント** 多数の電話機を選択した SIP プロファイルの更新を一度の操作で行うには、一括管理ツールを使用します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 一括管理ガイド』を参照してください。
-

 手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM Administration で、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択します。
- ステップ 2** [検索 (Find)] をクリックし、既存の電話機を選択します。
- ステップ 3** [SIP プロファイル (SIP Profile)] ドロップダウンリストから、トラフィックを管理する APIC-EM コントローラを使用する電話にアップロードした [SIP プロファイル (SIP Profile)] を選択します。
- ステップ 4** [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの残りのフィールドをすべて入力します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。